

あいかわ 議会だより

第177号

令和5年5月15日発行

責任者 議会議長 渡辺 基
年4回発行・本号18ページ

半原地域に咲く「タチアオイ」

花言葉は大望・豊かな実り

- 議員提出議案
愛川町議会議員定数条例の一部を改正する条例を可決 …… P.2
- 議員提出議案
愛川町議会の個人情報の保護に関する条例を可決 …… P.3
- 各会計の新年度予算を可決 …… P.3

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP17をご覧ください



令和5年5月15日

2023 愛川町議会

令和5年第1回愛川町議会「1月臨時会」は1月12日に開催され、「3月定例会」は、2月28日から3月24日まで、会期25日間(本会議開催日6日間)にわたり開催されました。定例会では、条例の一部改正をはじめ、令和5年度予算や補正予算など、合計で19件の町長提出議案及び2件の議員提出議案を審議し、全議案を可決(承認)しました。

3月定例会

議員提出議案「議員定数削減」を可決

提案理由

◎愛川町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定
(賛成12人、反対3人)
次期選挙からの議員定数を「16人」から「14人」へと削減する条例の一部改正を賛成多数で可決したものです。

【公布の日以降、初めてその期日が告示される一般選挙から施行】
(令和5年10月1日予定の愛川町議会議員選挙)

全国的に自治体ごとの自治体議員の定数について、町村の規模にかかわらず、概ね減少傾向にあり、その多くの自治体が人口減少や財政難を理由に進められています。本町では、平成23年から約10年で3,000人以上の人口減少となっていることや、区長会からの要望をはじめ、町民からの議員定数削減に対する要望などが多く寄せられている現状を踏まえる

令和5年第1回1月臨時会日程

Table with 4 columns: 月, 日, 曜, 会議名, 主な内容. Row 1: 1, 12, 木, 本会議, 町長提出議案の説明、質疑、討論、採決

令和5年第1回3月定例会日程

Table with 4 columns: 月, 日, 曜, 会議名, 主な内容. Rows include 2/28, 2/29, 2/30, 3/7, 3/9, 3/10, 3/15, 3/16, 3/17, 3/20, 3/24

と、何らかの対策を講じていかなければならないと考えます。これまでも、現在の情勢に見合った適正な定数にすべく検討してきたものであり、ここで削減しても、議会が自ら住民との議論の場をつくり、合理的、効果的な議会活動に努め、議会の審議の充実を図ることで、その機能は十分に発揮出来るものと判断したものです。

反対討論要旨(一部紹介)

削減を求める住民の声に応じる形で報酬や定数も削減した結果、削減するたびに候補者が減り、無投票や欠員を生み、住民の信頼は高まらなかつた事例があります。そのため、住民の多様な意見を排除することにつながるから、一定の時間をかけて慎重に結論を出すべきです。また、削減を、身を切る改革であると称賛する声もあるが、それは違います。団体の意思を決定する重要な機能を担っている議会は、広い見地から個々の住民の利害や立場の違いを包摂する地域社会の在り方を議論する役割が一層求められます。よって、現状維持が望ましいと考えます。

賛成討論要旨(一部紹介)

議会が自ら身を切り、改革をしていく姿勢を示すこと、また、それ以上に議員一人一人が、より多くの声と多彩な町民意見を集約し統合に努めることが、町民からの負託に応えるものです。地域のことは地方公共団体が自主性、自立性をもって、国の干渉を受けることなく、自らの判断と責任の下に地域の実情に合った行政を行っていくとあります。定数を2人減らしても、議員の仕事、職責は十分に果たせると判断し、賛成します。



議員提出議案

◎愛川町議会の個人情報保護に関する条例の制定 (賛成全員)

議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めるとともに、議会が保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める個人の権利を明らかにすることで、議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護することを目的とした条例の制定を可決したものです。

【施行期日】

令和5年4月1日



総額258億2千187万1千円
令和5年度当初予算を可決

《令和5年度各会計予算額》

会計名	予算額	構成比	増減率	
一般会計	138億2,300万円	53.5%	2.6%	
特別会計	国民健康保険	48億5,700万円	18.8%	-0.3%
	後期高齢者医療	5億9,000万円	2.3%	6.5%
	介護保険	35億100万円	13.6%	4.1%
	小計	89億4,800万円	34.7%	1.8%
企業会計	公共下水道事業	18億8,587万1千円	7.3%	2.8%
	水道事業	11億6,500万円	4.5%	9.8%
	小計	30億5,087万1千円	11.8%	5.4%
合計	258億2,187万1千円	100.0%	2.6%	

- ◎一般会計予算
- ◎国民健康保険特別会計予算 (以上、賛成全員)
- ◎後期高齢者医療特別会計予算 (賛成12人、反対3人)
- ◎介護保険特別会計予算
- ◎公共下水道事業会計予算
- ◎水道事業会計予算 (以上、賛成全員)

※議長は表決に含まず。

右記のQRコードを読み込むと、スマートフォンやタブレットから当初予算の詳細がご覧になれます。



条例議案

◎愛川町個人情報保護条例の全部を改正する条例の制定について (賛成全員)

「個人情報保護に関する法律」の一部改正に伴い、従前から各市町村等の条例において定められていた個人情報保護に関する規定が、同法に統合され、本町にも直接適用されることから、法改正に準拠し、法により条例に委任された事項等について定める改正を行ったものです。

【施行期日】

令和5年4月1日

◎愛川町国民健康保険条例の一部改正 (賛成全員)

県が国保事業を行うにあたり、県内の市町村が県に納付する分担金「国民健康保険事業費納付金」が、その納付に要する費用などに国保税が不足することに伴い、受益者

負担の公平性を確保しつつ、国民健康保険財政の健全化を図るため、国民健康保険税の税率を改定する一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和5年4月1日

◎愛川町営斎場条例の一部改正 (賛成全員)

町外者の火葬炉使用件数が増加傾向にあり、施設運転に係る委託料等が増大していることから、広域的な公共施設として適切な運営を図るため、町外者の火葬炉使用料を改定する一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和5年7月1日



愛川聖苑

改正前

区分	単位	町民	町外者
12歳以上	1体	8,000円	80,000円
12歳未満(死胎を除く)	1体	5,000円	50,000円
死胎	1胎	4,000円	40,000円
改葬	1件	4,000円	40,000円
身体の一部	1件	4,000円	40,000円

改正後(令和5年7月1日から)

区分	単位	町民	町外者
12歳以上	1体	8,000円	90,000円
12歳未満(死胎を除く)	1体	5,000円	50,000円
死胎	1胎	4,000円	40,000円
改葬	1件	4,000円	40,000円
身体の一部	1件	4,000円	40,000円

町外者の愛川聖苑火葬炉使用料が改定されます

令和5年5月15日

◎愛川町国民健康保険条例の一部改正

(賛成全員)

健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額が見直されたことに準じ、被保険者の出産に係る費用負担を緩和するため、本条例の出産育児一時金の支給額を定める条例の一部改正を可決したもので、被保険者が出産したときに支給する出産育児一時金の支給額が、現行の42万円から50万円に引き上げられたものです。

【施行期日】

令和5年4月1日



◎愛川町下水道条例の一部改正

(賛成全員)

町下水道条例で定めら

補正予算

◎令和4年度愛川町一般会計補正予算(第10号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億4,292万8千円を追加し、一般会計の総額を1億5,022万7千2百11円としたものです。

◎愛川町公共下水道使用料条例の一部改正

(賛成12人、反対3人)

受益者負担の原則に基づき、使用者の使用排水量に応じた適正な負担をしてもらい、経費回収率を改善することで一般会計からの繰入金金の依存割合を軽減するとともに、施設の老朽化対策を実施するなど、健全で持続可能な下水道事業経営を確保するために、下水道使用料を定める条例の一部改正を可決したものです。

【施行期日】

令和5年10月1日

個人総括質疑

3月7日の本会議では、補正予算議案を対象に、岸上議員、阿部議員、玉利議員の3名が個人総括質疑を行いました。質疑項目の一部を紹介します。

1月臨時会

補正予算

◎令和4年度愛川町一般会計補正予算(第9号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億6,952万9千円を追加し、一般会計の総額を1億4,722万2千3百円としたものです。

■増額の詳細について

■現年課税分増額

■増額の詳細について

増額の詳細について

事件議案

◎町道路線の認定

(賛成全員)

新たに町道として管理する必要が生じた路線について、中津楠木地内における開発行為に伴う「帰属」により1路線を新規路線として認定したものです。



主な内容は、本町へのふるさと納税による寄附の増加に伴い、寄附額に連動して支払うポータルサイト事業者への委託料の増加を見込んだもののほか、国庫補助金である、出産・子育て応援交付金を活用し、出産・子育て応援事業として、妊婦1人当たり5万円の出産準備金と、新生児1人当たり5万円の子育て応援金を給付するための経費などです。

会派代表質問

本会議5日目の3月9日は、町長の施政方針等に対し、会派代表質問を行いました。内容の一部を紹介します。

令和あいかわ (茅 孝之議員)

問 避難所の備蓄品確保の考え方について

町長 地域防災計画に基づき、9か所の指定避難所に生活用品や食料品を確保している。

近年の激甚化する気象災害や切迫性が懸念されている大規模地震などの有事に備え、町民の命を守るためには備蓄品の整備拡充は大変重要なことです。

備蓄の数量について、県の地震被害想定調査を参考に被害想定人員を4,000人と定め、これを基本として備蓄品の確保に努めています。

また、生活用品については、各避難所に分散配備しているほかに、食料品については、品質を保持するために消防庁舎の倉庫に一括保管しています。

本町では、いざというときに備え、引き続き計画的な取り組みを継続し、万全を期してまいります。



あすかみらい (山中 正樹議員)

問 保育士の育成と施設運営の向上について

町長 官民が連携し、人材育成や施設の適切な運営に努め、町全体の幼児保育の向上につなげる。

国の保育指針では、保育園や認定こども園などにおいて、園児に生きる力の基礎を育むことが求められていることから、

それを担う保育士の役割は極めて重要であり、常に質の高い保育を実践していくために、人材育成や適切な保育所運営に努めていく必要があると考えています。

そこで、本町では外部講師による全体研修や園児の年齢別に行う年代別研修のほか、認定こども園や小規模保育施設と連携し、オンラインによる研修を行うなど、保育士の人材育成を図るとともに、官民連携による研究や研修を行う体制づくりに努めています。

さらに、新年度においては、国の補助金を活用し、長年、町立保育園で勤めてきた元園長を保育アドバイザーとして配置し、保育園をはじめ認定こども園や小規模保育施設に派遣していく巡回支援事業を新たに実施するなど、町全体の幼児保育の向上につなげていきます。

公明党 (井出 一己議員)

問 生活交通対策事業の考え方について

町長 地域公共交通計画を策定し、持続性ある利便性の高い地域交通網の構築に向けて取り組む。

本町では、平成19年度から令和7年度までを計画期間とする総合交通計画に基づき、利便性の高い交通環境を目指し、町民の生活交通を確保する

取り組みを進めています。これまでの取り組み実績として、新規バス路線の運行開始や、町内循環バスのルート再編を行ってきました。

また、新たな交通機関の誘致では、小田急多摩線の延伸について要望活動などを行い、平成28年には、国の交通政策審議会において、唐木田駅から上溝駅までの延伸の意義が認められるとともに、上溝駅から厚木方面への延伸についても検討することが示されるなど、前進が図られてきていると認識しています。

しかし、地域公共交通については、人口減少やコロナ禍の影響を受け、安定的に機能を持続していくためには多くの課題もあります。

本町としては、現行の総合交通計画が令和7年度末で終了となるため、新たな地域公共交通計画を策定していく予定であり、持続性ある利便性の

令和5年5月15日

高い地域交通網の構築に向けた取り組みにつなげていきたいと考えています。



施策の主な内容については、これまで国の交付金などを活用しながら実施した1人あたり3,000円の地域振興券を配布する事業については、エネルギー価格や物価高騰など町民生活に大きな影響を及ぼしている現下の状況に鑑み、基金を活用し、第5弾として「いのちと暮らしを守るあいかわ元気券」を全町民へ配布し、町民皆さんの生活支援や事業者の経営支援を継続したいと考えています。

**日本共産党
 愛川町議員団
 (鈴木 信一議員)**

問 町民生活を守り地域経済を後押しする施策の主な内容と期待する効果について

町長 「いのちと暮らしを守るあいかわ元気券」を配布するなど、地域経済を後押しし、町の活性化につなげる。

そのほか、子育て世代に対しての施策として、出産準備金の支給や、学校給食費への補助を行います。高齢者への支援として、高齢者バス割引乗車券の購入助成やタクシー利用助成券の交付、さらには補聴器購入助成を継続するなど、きめ細やかな支援策を実施します。これらの施策により、先の見えない不安な毎日が続く中で、町民皆さん

の暮らしへの一助としていただくとともに、地域経済を後押しし、町を元気にする、そして町の活性化につながる効果を期待しています。



あいかわ元気券
 詳細はこちら



**「いのちと暮らしを守る
 あいかわ元気券」
 全町民へ配布予定**

※写真はイメージです

**あいかわの聲
 (熊坂 崇徳議員)**

問 令和5年度のごみの減量化・資源化の考え方と今後の取り組みについて

町長 家庭内の不用品のリユースを促すなど、ごみの減量化と排出抑制に努める。

本町では、一般廃棄物処理基本計画に、ごみの減量化目標とリサイクル目標を掲げ、この目標達成を目指し、生ごみ処理容器等の購入費補助や剪定枝の資源化といった取り組みに加え、令和4年度からは製品プラスチックをピックアップ回収するなど、様々な手法によりごみの減量化と資源化を推進しています。

その結果、ごみの減量化については、総排出量が減少するなど、効果が現れている一方、リサイクル率については、緊急

事態宣言下で生じた巣ごもりからの反動もあり、古着や剪定枝などの資源物の排出量が減少したほか、コロナ禍にあつて地域における資源回収事業の実施回数が減少する結果となったものです。

こうした経過を踏まえ、令和5年度は従来の取り組みに加え、粗大ごみのリユース事業を手がける事業者と連携し、家庭内の不用品のリユースを促すなど、ごみの減量化と排出抑制に努めるほか、資源物として回収しているペットボトルについては、新たにサントリールホールディングスと協定を締結し、ボトルtoボトルの水平リサイクル方式を開始するなど、一層ごみの減量化と資源化率の向上を目指していきたいと考えています。



常任委員会での審査

条例議案や令和5年度当初予算の審議をより詳細に行うため、各常任委員会において、現地調査及び質疑を行いましたので、その内容の一部を紹介します。

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会へ付託された条例及び予算について、3月10日に補足説明と現地調査を実施し、15日及び17日は、各議案に対する質疑を実施しました。



総務建設常任委員会での審査

キャッシュレス決済経費

問 キャッシュレス決済導入事業費の詳細について

答 本事業費は、住民票の写しや税務証明書等の各種証明書発行手数料を窓口で支払いの際、電子決済が可能となる端末機や自動釣銭機を導入する

委託料と、両機械を連携させレジ環境を整備する委託料、さらに端末機は、光回線での通信が必要となることから、ネットワークを整備する委託料で、事業費全体では、344万1,000円です。

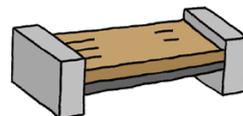


公園整備事業費

問 第2号公園防災用かまどベンチ設置用原材料費の詳細について

答 公園に訪れる多くの方のやすらぎと憩いの場となるように公園南側の繁茂した樹木の剪定、伐採など、広場整備を行っています。公園南側には、休憩するためのベンチがないことから、公園南側の開墾碑周辺に防災用ベンチを設置するものです。通常はベンチとして使用でき、災害時には

座板を外すことで炊き出し用かまどとして利用ができる「防災用かまどベンチ」を2基購入するものです。



教育民生常任委員会

教育民生常任委員会へ付託された条例及び予算について、3月10日に補足説明と現地調査を実施し、16日及び20日は、各議案に対する質疑を実施しました。



教育民生常任委員会での審査

小学校入学準備金支給事業費

問 事業費の詳細について

答 授業に必要となる学用品については、購入する品目も多く、特にランドセルなど高額な物品もあることから、保護者の経済的負担の軽減を図るために、対象児童1名につき1万円を支給するため、合計で237万円を予算計上したものです。なお、通学用品や学用品については、入学前から準備するものであることから、保護者が援助を必要とする時期に、適切な支給ができるよう、令和6年度に入学を予定している児童のいる世帯に対し、令和5年度中に入学準備金として支給するものです。



官民連携保育推進事業費

問 保育アドバイザー謝金の詳細について

答 長年、町立保育園で園長経験のある元保育士1名を配置し、保育園をはじめ、認定こども園、小規模保育施設の合計11施設を、毎月1回2施設ずつ訪問し、巡回支援するものです。

保育アドバイザー1名への謝金として、月額1万2,600円を月1日、7年間12日分の合計で、予算額15万2,000円を計上したものです。



討 論

24日の本会議最終日に、各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。内容の一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

条例議案

反対
共産党
小林 敬子議員

議案第7号、「愛川町公共下水道使用料条例の一部を改正する条例の制定」について、減免制度の見直しを行うことに反対です。

この減免制度は、生活保護の対象者に対し下水道使用料の減免を行っていましたが、保護費には下水道使用料相当が含まれているため減免の見直しをすることですが、1人の保護費全体からみれば相当な負担となります。

また、生活保護受給者は、令和4年より続いている異常な物価高騰による苦しい生活を強いられ、保護費は原則5年毎に見直しをされることから、この状況下で、減免制度をなくすことは反対です。

予算議案

賛成
令和あいかわ
茅 孝之議員

令和5年度の予算編成、事業計画について、町長が掲げた施政方針に沿って賛成討論を行います。

まず、「自然と人が共生したまちづくり」について、主な事業として県道54号線の愛川橋下流の狭隘箇所^{きょうあい}の解消に向けて線形改良工事に着手することを評価します。



愛川橋下流の狭隘箇所の線形改良工事が実施されます

次に、「安全で安心して暮らせるまちづくり」の防犯対策では、防犯カメラの増設や、令和5年

4月からは道交法の改正のための、自転車に乗る全ての人にヘルメット装着の努力義務に対応した、ヘルメット購入助成の拡大など、きめ細やかな対応をしていることを高く評価します。

また、「豊かな人間性を育む文化のまちづくり」については、学校給食に關し、より一層の地場産食材を活用する取り組みや、食材費の高騰の中でもおいしい給食を提供するために、1,000万円余りの公費負担をすることを高く評価します。

町長が掲げた令和5年度予算は、町民のことを一番に考え、幸せというエッセンスが加えられた予算編成と確信し、職員と一丸となり、私たち党派の要望も踏まえて確実に実行していくことを期待します。



賛成
あすかみらい
小島 総一郎議員

令和5年度予算について、賛成の立場から討論を行います。

まず、歳入については、町税収入の増加などにより、令和5年度は3年ぶりに不交付団体となることを見込みましたが、引き続き、税収の確保や補助金、交付金の確保に取り組みでいただきたいと思っています。

次に、歳出です。初めに、地域活動費について、予算額が令和4年度より若干の減となっています。自治会活動への支援は、行政運営上必要不可欠です。自治会への加入促進への取り組み支援や、役員の成り手不足の解消などに、今後も積極的に町も関与していくべきと考えます。

次に、小児医療費助成事業について、県の補助事業の拡大を機に、現在の中学校卒業までの助成

を18歳までに拡大したことにについて評価します。

また、消防費について、令和5年度は、救助工作車の更新を行います。現在の車両は老朽化が進んでいたため、適切な対応です。さらに、新たに女性消防士の採用に向けて取り組みなど、消防・救急体制の強化に向けての取り組みは高く評価します。

最後に、議案第18号の令和5年度水道事業会計予算、水道施設ポンプ運転動力料金について、電力料金の急激な価格上昇による影響が大きく、適正価格の電力確保にご苦労されているものと推察しますが、引き続き安全で良質な水の安定供給に取り組みでいただきたいと思えます。



賛成 公明党 佐藤 りえ議員

一般会計の予算規模に

ついては過去最大で、3年ぶりに不交付団体となり、令和5年度における町税収入の見通しでは、個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税の増収が見込まれ、大変良好な状況です。

歳出では、引越しワンストップ支援サービスにより、マイナポータルからオンラインで転出の申請を行うことで、転入先の役所のみで手続きを行えば住所の異動を行え、町民の利便性向上と事務の効率化が図られることを評価します。

また、公共施設用AED Dについて、休館日も含め、誰もが24時間365日使用できるよう、野外設置型を6基導入するとともに、音声ガイダンスや液晶画面にイラストや操作方法を表示する機能を備えた最新機種へと更

新されます。緊急時に誰でも、いつでも使用が可能となることを評価します。

小学校入学準備金支給事業では、令和6年度に小学校へ入学予定の児童がいる世帯に対し、令和5年度中に、入学準備金として対象児童1名につき1万円が支給されます。申請型であるため、町民皆様への周知を徹底するよう望みます。

限られた財源や人材資源を有効的に活用し、町民の皆様と寄り添い、きめ細やかな施策事業がより積極的に推し進められるよう期待します。



新たに6基導入される公共施設用AED (写真はイメージです)

賛成 共産党 小林 敬子議員

歳入では、地方債や

基金の活用などの財源を活用することで、切れ目のない子育て支援や教育などへの施策を盛り込み、昨年からの電気代や物価高騰に苦しむ町民生活を癒やす取り組みを評価します。

次に、歳出では、新たに各種ハラスメント対策とリスク管理に重点を置き、ハラスメントを起さない組織づくりを推進するための職員研修を実施します。

本町には48名の管理職がいますが、日頃の自分を振り返る機会となるよう、必要な知識を学び、意識向上を図っていただきたいと思えます。

キャッシュレス決済経費では、町税等の口座振替について、これまでは職員が銀行に向き、フロッピーディスクを渡すことによりデータを提出し

ていたものを、伝送方式に変えることにより、様々なリスクの回避やセキュリティ強化などにつながり、適切です。

空き家対策推進事業費では、空き家の取得・改修などの補助制度について、7種の取り組みを行っており、他都市からの転入による社会的増加をもたらす効果も期待されるため、引き続き事業を推進することを願います。

賛成 あいかわの聲 玉利 優議員

はじめに「自然と人が共生したまちづくり」では、狭隘道路の解消に向け、測量費用の一部補助を行うなど、狭隘道路の解消に向けた取り組みを評価します。

次に「安全で安心して暮らせるまちづくり」の防災対策では、令和4年度より高度な知識と経験を持つ防災監を配置し、今までにない取り組みをされていることに感謝し

最後に、「共に創る持続可能なまちづくり」では、自治体が最新のデジタルテクノロジを活用することで、自治体の業務プロセス等を変革する「自治体DX」について、現在、町の職員の数が減少

空き家バンク制度のご案内. 空き家を売りたい! 空き家を買いたい! 空き家バンク. 空き家バンク制度のご案内. 町では、町内にある空き家の情報を、住宅を探している方へ提供することにより、空き家を有効活用し、良好な生活環境の保全や定住促進を図るため、空き家バンク制度を運用しております。町内に空き家をお持ちでしたら、是非空き家バンクの利用をご検討ください。

空き家対策事業を推進しています



旧半原小学校校舎の様子

「豊かな人間性を育む文化のまちづくり」では、旧半原小学校木造校舎の活用について、この校舎を守っていきけるよう、耐震性を備えた校舎となるよう早急な検討を願います。

最後に、「共に創る持続可能なまちづくり」では、自治体が最新のデジタルテクノロジを活用することで、自治体の業務プロセス等を変革する「自治体DX」について、現在、町の職員の数が減少

令和5年 第1回1月臨時会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第1号	令和4年度愛川町一般会計補正予算(第9号)	可 決

令和5年 第1回3月定例会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第2号	愛川町個人情報保護条例の全部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第3号	愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第4号	愛川町町営斎場条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第5号	愛川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第6号	愛川町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第8号	令和4年度愛川町一般会計補正予算(第10号)	可 決
町長提出 第9号	令和4年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可 決
町長提出 第11号	令和4年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可 決
町長提出 第12号	令和4年度愛川町水道事業会計補正予算(第2号)	可 決
町長提出 第13号	令和5年度愛川町一般会計予算	可 決
町長提出 第14号	令和5年度愛川町国民健康保険特別会計予算	可 決
町長提出 第16号	令和5年度愛川町介護保険特別会計予算	可 決
町長提出 第17号	令和5年度愛川町公共下水道事業会計予算	可 決
町長提出 第18号	令和5年度愛川町水道事業会計予算	可 決
町長提出 第19号	町道路線の認定について	可 決
町長提出 第20号	令和4年度愛川町一般会計補正予算(第11号)	可 決
議員提出 第1号	愛川町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可 決

●意見が分かれた議案

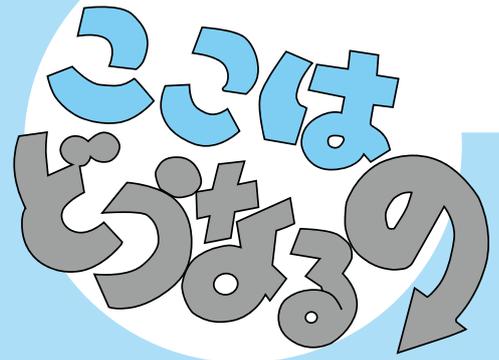
○…賛成、●…反対

議案番号	議案等の件名	公明党			日本共産党 愛川町議員団			あいかわの聲			令和 あいかわ			あすかみらい			無所属	議決結果	
		井出 一己	佐藤 りえ	岸上 敦子	鈴木 信一	井上 博明	小林 敬子	熊坂 崇徳	渡辺 基	玉利 優	阿部 隆之	馬場 司	茅 孝之	山中 正樹	小島 総一郎	木下 真樹子			佐藤 茂
町長提出 第7号	愛川町公共下水道使用料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	●	●	○	加議 わ長 りは ま採 せ決 んに	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第10号	令和4年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	●	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第15号	令和5年度愛川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	●	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
議員提出 第2号	愛川町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決

(会派「あいかわの聲」は令和5年3月31日付で解散しました。)

※議案の内容はP2～4を参照

一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧になれます。なお、3月定例会の会議録は、6月頃には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末で、ご覧になれます。

【お詫び】 一部議員の一般質問において、映像及びマイクシステムの不具合により、映像の乱れや停止、聞き取りにくい音声、周囲のノイズ等がありますので、ご了承ください。

茅 孝之 議員 P.11

・生産年齢人口の流出防止のための交通体系の整備について

鈴木 信一 議員 P.14

・介護保険制度について ほか

井上 博明 議員 P.12

・学校教育について ほか

阿部 隆之 議員 P.14

・県道の歩道整備や交差点改良について ほか

山中 正樹 議員 P.12

・行政計画の統合・削減について

玉利 優 議員 P.15

・ナラ枯れ対策について ほか

小林 敬子 議員 P.13

・崖地に対する災害対策について ほか

熊坂 崇徳 議員 P.15

・観光施策・景気対策の推進について
(熊坂議員は、令和5年3月31日に辞職しました)



©愛川町

岸上 敦子 議員 P.13

・出産・子育て環境の充実について ほか

リアモーターカー 車両基地活用の考え



かや 茅 孝之 議員

問

現在、リアモーターカーの開通に向け、橋本に駅ができ、車両基地が宮ヶ瀬の先の鳥屋にできます。この車両基地までを旅客化営業すれば町民にとって便利になります。そこで今後の町としてのビジョンを伺います。

旅客化の実現厳しい ビジョンとして注視

町長 旅客化の実現は今の所は厳しいようです。その理由は運行ダイヤの関係や周辺人口等の問題がありますが、本町も将来のビジョンとして頭に入れ、動向を注視していきます。

問

子どもの進学に合わせて、交通の便利な市町に引越すなど、生産年齢人口の流出は町にとって活気を失います。そこで、新しい交通網として、朝の時間帯に原麻駅などの相模線へ、直通バスの運行や循環バスの利用等をすれば朝の通勤通学が便利になり流出を防げると思います。が、町内外への新路線等の設置や今後の交通計画を含めた、町の取り組みについて伺います。

需要の確保が大前提 次期計画へ繋げる

企画政策課長 バス路線の新設には需要の確保が大前提となり、町全体の人の動きを把握するとともに新設する地域の路線バス状況や利用を把握するためのアンケートを行い、調査結果を基に、町公共交通検討委員会から

人口流出防止の新しい交通網

の意見を伺いながら、路線バス事業者と協議をし、具体的な運行内容を検討します。

総務部長 今後は、関係団体が組織する協議会において、次期計画への反映や具体的な取り組みに繋げていきます。



リニア開通でアップする橋本駅周辺の交通利便性

令和5年5月15日

**教職員の勤務実態
多忙解消の取組み**



いのうえ ひろあき 議員

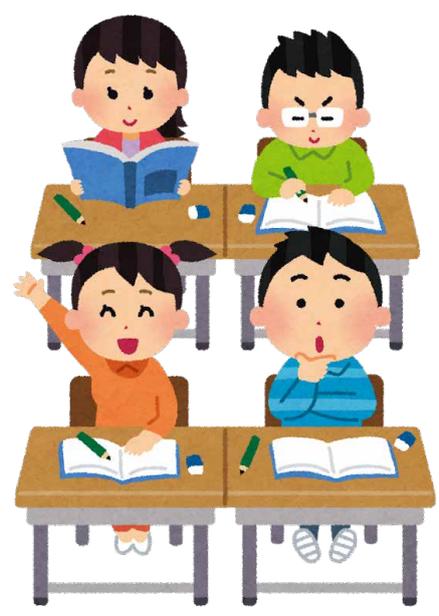


問 国は、教職員の働き方改革を進めています。本町における教職員の勤務実態と時間外勤務の解消に向けた取り組みについて伺います。

答 国は、教職員の働き方改革を進めています。本町における教職員の勤務実態と時間外勤務の解消に向けた取り組みについて伺います。

検討委員会を設置 情報共有図り取組む

教育長 各校の教頭を構成員とする町教職員業務改善検討委員会を設置し、各学校の状況報告や、働き方改革に係る優れた取り組みの発表など、継続的な情報共有を図り、多忙化解消に向けた取り組みを進めています。



**「盛土規制法」
津久井農場計画地への適用は**

問 盛土規制法による津久井農場計画地への適用に向け、その後の県と政令都市である相模原市の取組状況と町の対応について伺います。

**相模原市と県で
基礎調査を実施**

副町長 津久井農場計画地とその下流域の半原、川北区、桜沢周辺については、相模原市、県にお

いてそれぞれ令和5年度に基礎調査を実施していくと伺っていますので、県や相模原市との情報共有に努めながら、意見等についてしっかりと申入れをしていきたいと考えています。

【その他の質問項目】

災害に強い町づくりを目指して

**町行政計画の
統合・削減**



やまなか まさき 議員



問 国は、様々な自治体に課しています。内閣府によりますと、義務化条項は10年前の約1.5倍。一方、自治体側も、計画総数を減らすよう訴えています。そこで、行政計画の統合・削減について伺います。

**骨太方針で最小限に
統合等は必要と認識**

町長 昨年の骨太方針では、国と地方の新たな役割分担が示され、国が求める新計画は、必要最小限とすること、策定済みの計画との統合や共同施

国で義務化されている町の計画

問 町の計画の総数や、法令による義務規定によって策定されたもの、補助金条件の計画数などを伺います。

内訳は、義務となっているものが15計画、努力義務となっているものが8計画、できる規定は5計画、その他法令に定めのない独自の計画は14の計画となっています。また、そのうち、補助金の交付要件となっている計画については、16計画あります。

**基本的な行政計画42
義務とされるのは15**

行政推進課長 基本的な行政計画は42計画あり、法令等による策定要件の

策を可能としました。本町は、統合や削減は必要と認識しており、第4次福祉計画に成年後見制度利用促進計画を加え、健康プランに食育推進計画を加えるなど、対応に努めています。



町長 妊婦健康診査の費用助成については、6万2千円分の補助券の交付のほか、令和4年度から出産・子育て応援交付金等の給付を行っており、さらなる支援を切れ目なく実施することで、妊産婦や子育て世代の経済的負担の軽減に努めています。

補助券は6万2千円負担の軽減に努める

問 本町と比べ県内市町村の妊婦健康診査の公費負担は大きく、本町においても補助金を増額する必要があると考えますが、町の考えを伺います。

妊婦健康診査補助金増額を



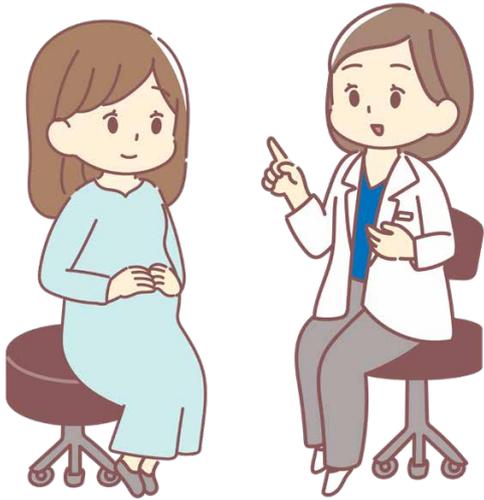
こばやし けいこ 議員

崖地に対する災害対策

問 崖地に対する災害対策として、令和4年度から本町において一定の要件を満たした土地所有者に対し、工事費及び危険な立木の伐採に係る費用の一部を補助していますが、いまだに不安の声を聞きます。こうした住民の不安を解消するための災害対策について、町の考えを伺います。

町の補助制度あり周知を図り活用を

町長 県の急傾斜地崩壊対策事業の要件に該当しない崖地の防災・減災を推進するため、本町では令和4年度から土地所有者が行う崖地工事や倒木の危険がある立木の伐採に要する費用に対する補助制度を開始しました。今後、町の補助制度の周知を図り、積極的にこの制度を活用していただくことで、町民の皆さんが安全・安心に居住できる環境整備に努めていきます。



プレコンセプションケア町の認識について



きしがみ あつこ 議員

問 将来の妊娠のための健康管理を促すプレコンセプションケアに対する町の認識について伺います。

妊娠前情報の発信へHPや広報紙で紹介

町長 健やかな妊娠・出産を迎える準備として、重要なことであると認識しています。国では、妊娠前に知るべき情報を発信するためのプレコンセプションケアセンターを開設しており、この取り組み内容などを、町ホームページや広報紙で紹介していきたいと考えています。

ディスクレシアへの対応

問 発達性読み書き障がいであるディスクレシアへの町の認識と対応について伺います。

児童生徒一定数いる指導法の柔軟な提供

教育長 ディスクレシアは、学習障害のタイプの一つとされ、全体的な発達に遅れはないものの文字の読み書きに限定した困難があり、これにより学業不振や二次的な学校不適応などが生じるもの

です。

本町においても、読むことや書くことをテーマとした学習に困難を示すディスクレシアに相当する児童・生徒が一定数いることは認識しており、より重点的な指導を行うとともに、特性や学習進度に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供や設定を行うなど、教育的ニーズを踏まえ、学びの充実に資するよう取り組んでいきたいと考えています。



プレコンセプションケアセンターの情報はこちらから
(国立成育医療研究センターHP)

**介護保険制度の導入
この間の成果と今後**



議員 新 伸一 鈴木 信一



問 介護保険制度導入による、この間の成果と今後の課題について伺います。

**サービス選択が可能
報酬の見直しに反映**

町長 成果は、公平性・客観性を重視した要介護認定に移行し、ケアプラン作成を通じ、本人や家族による幅広いサービスの選択が可能となったことが考えられます。一方、課題は、事業運営が高齢化率や要介護認定率等の上昇により介護サービスの需要が増え、介護報酬の見直しに反映せざるを得ない状況にあります。

シルバー人材センター支援

問 シルバー人材センターは高齢者を対象に就業支援を行うことで、生きがいをもたらし、老後の生活を支える貴重な収入源としても重要な役割を果たしています。そこで、センターの運営支援と今後の課題について伺います。

**運営補助と加入努力
課題は退会者の増加**

町長 本町ではセンターの担う事業が円滑に実施されるよう国庫補助金の規定に準拠し人件費や管理費など国と同額の700万円を交付しています。



町シルバー人材センター

また、65歳を迎えた方に対してセンターの目的や事業内容を紹介したチラシを配布するなど加入促進に努めています。今後の課題としては、超高齢社会の進行に伴い、退会者が増加傾向にあること、また、高齢者雇用安定法の改正により、70歳までの就業機会の確保が事業主の努力義務となったことから、加入者の確保が大変難しくなり、補助金の算定にも影響があります。

【その他の質問項目】
 補聴器購入費助成の拡充について

**中津川や河川敷
定期的修繕や整備**



議員 高 隆之 阿部 たくゆき



問 中津川流域における河川敷を含む定期的な河川整備及び修繕について伺います。

**維持管理の必要認識
財源の確保に努力**

町長 中津川については河川敷の樹林化が目立っており、倒木による流路の阻害や、また鳥獣のすみかとなることで農作物や生活環境への影響が懸念されています。そこで本町では厚木土木事務所と調整し、中津川の樹林化対策を計画的に実施しており、今年度は馬渡橋の下流や角田大橋の下流、坂本頭首工下流で樹林化対策を行っています。



樹林化対策工事が行われています

歩道整備や道路改良の状況

問 県道における歩道整備や交差点改良における要望と現在の状況について伺います。

**愛川橋下流で拡幅
角田の歩道整備着手**

町長 以前から要望をしていた県道54号の愛川橋

いずれにしても、広大な中津川流域においては、継続的な対策に要する費用の確保や定期的な維持管理が必要のため、様々な機会を通じ、財源の確保と適正な管理をしていただくよう継続的に県へ要望をしていきます。

下流の交互通行が難しい箇所については、令和5年度には線形改良工事に着手することとなりました。また、同号の愛川幼稚園先から角田大橋までの歩道整備についても、工法の検討等を経て、今年度には工事に着手することとなります。

令和4年度、県のガイドラインを参考に、安全確保や被害防除を目的とした被害木の伐採のほか、

令和3年度までは収益的収入が支出を上回っていましたが、令和4年度より、燃料費高騰などで

町長 ナラ枯れは病原菌のナラ菌を媒介するカシノナガキタイムシが樹木に入り、菌を感染させる伝染病で、ナラ、シイ、カシ類の被害が増えています。

町長 収入の根幹となる水道料金収入は、人口減や節水型器具の普及などで減少しています。

町長 コロナで高まりを見せるアウトドアレジャーでは、戸倉の中津川河川敷に、あいちちゃんをラッピングした移動式トイレや、三増合戦場跡に設置している案内板をデザイン化するなど、本町の自然環境や地域資源を活かした観光振興に努めます。

町長 コロナで高まりを見せるアウトドアレジャーでは、戸倉の中津川河川敷に、あいちちゃんをラッピングした移動式トイレや、三増合戦場跡に設置している案内板をデザイン化するなど、本町の自然環境や地域資源を活かした観光振興に努めます。

町長 景気対策では、令和2年度から4年度までは、コロナ対策や物価高騰対策として国の交付金を活用しながら、4回にわたって総額4億4,000万円余りの地域振興券の発行を行いました。

町長 景気対策では、令和2年度から4年度までは、コロナ対策や物価高騰対策として国の交付金を活用しながら、4回にわたって総額4億4,000万円余りの地域振興券を全町民に配布するための予算を計上しました。

被害状況を注視 危険木を伐採・薫蒸

問 ナラ枯れ被害が増加しています。そこで、原因や被害状況について、町の認識と対策を伺います。

問 人口減少に伴う水の需要の減少や水道施設の老朽化など、様々な問題を抱えている中で、安定的な経営を維持していかねればなりません。そこで、健全な水道事業の経営における現状と課題を伺います。

減収や老朽化も認識 経営戦略を見直す

町長 収入の根幹となる水道料金収入は、人口減や節水型器具の普及などで減少しています。

問 政府は5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを5類に引き下げます。これを契機に観光客誘致などの考えについて伺います。

問 コロナ後の景気対策の推進について町の考えを伺います。

町長 景気対策では、令和2年度から4年度までは、コロナ対策や物価高騰対策として国の交付金を活用しながら、4回にわたって総額4億4,000万円余りの地域振興券を全町民に配布するための予算を計上しました。

ナラ枯れが増加 町の認識と対策




たまりまさる 議員

健全な水道事業の経営について



今後、被害状況を注視し、先進事例などの情報収集に努め、効果的な対策が取れるよう取り組んでいきます。

新型コロナ5類へ観光客誘致の考え




くまさか 熊坂 たかのり 議員

※熊坂議員は令和5年3月31日に辞職しました。



河川敷も賑わいを取り戻しています



令和5年5月15日

議会改革推進特別委員会

愛川町議会では、「町民参加を基本とする開かれた議会」のなお一層の実現と、効率的で迅速な議会運営や議会の活性化、危機管理体制の強化など、更なる議会改革により、町民に信頼され機能する議会としていくため、議会改革推進特別委員会を設置し、調査・研究に取り組んでいます。

実施日	協議内容
1月12日	・タブレット端末の運用規程等について ・オンライン会議の開催について ・区長会からの要望に関する取り扱いについて
1月23日	・区長会からの要望「愛川町議会議員定数の削減について」に関する取り扱いについて
2月8日	
2月17日	



議会改革推進特別委員会の様子

町議会議員の定数削減については、令和2年度の本委員会において、議会の機能が果たせるか否かといった視点での議論を慎重に重ねた結果、現状維持と決定していましたが、区長会からの要望を住民の声として重く受け止め、近年の厳しい社会経済情勢や近隣自治体の現状、また、議員定数削減や基準についての明確化の必要性などについて、改めて協議いたしました。

愛甲郡町村議会 議員研修会

令和5年3月30日に、清川村生涯学習センターせせらぎ館において、郡町村議会議員研修会を次のとおり開催しました。



講師
株式会社 (株)富士ソフト
田中康之氏ほか4名

研修テーマ
「タブレット端末を活用した議会運営について」



視察のため来町されました

栃木県壬生町

■視察日 1月24日(火)

■来庁者 壬生町議会

議会広報特別委員会

戸崎 泰秀 委員長
ほか 8名

■視察内容
議会だよりの編集等について

和歌山県有田川町

■視察日 1月27日(金)

■来庁者 有田川町議会

広報広聴常任委員会

増谷 憲 委員長
ほか 9名

■視察内容
議会広聴活動(意見交換会開催等)について



壬生町議会 議会広報特別委員会、議会運営委員会の皆様を歓迎



有田川町議会 広報広聴常任委員会、議会運営委員会の皆様を歓迎

議会用語解説

議会用語	解説
えん かい 延 会	議事日程の一部又は全部を終わらず、その日の日程を他日に延ばして、会議を閉じること。
きゅう かい 休 会	会期中に一日単位で本会議の活動を休止すること。
さん かい 散 会	その日の議事日程に記載された事件のすべての審議を終了して、その日の会議を閉じること。

議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

☎ 046・285・2111
(内線3792)

第27回 議会クイズ

- 問1** 愛川町議会に視察で来町された二議会の議員は合計何名でしょうか？
 ①19名 ②39名 ③59名
- 問2** 出産育児一時金の支給額はいくらに引き上げられましたか？
 ①42万円 ②50万円 ③52万円
- 問3** 3月定例会に議員提出議案は何件提出されましたか？
 ①1件 ②2件 ③19件

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。



©愛川町

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、**必ず**議会だよりの感想（紙面の見やすさなど）をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。
 ☆正解と当選者は次号で発表します。

《しめきり》 5月31日（水）（郵送の場合は当日消印有効）

- 《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局宛
 ●ファクスの場合 046-286-5021
 ●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp
- オンラインでの場合は右記のQRコードを活用して、応募ができます。



第26回議会クイズの 答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

《正解》
 問1・①65歳
 問2・②12年間
 問3・②7人

《当選者》
 伊従 博美 様
 高橋 克夫 様
 沼田 葉子 様
 以上3名

議事事務局職員 人事異動のお知らせ

- 4月1日付
- （新）議事事務局局長 高瀬 紀之
 - （新）議会事務局書記（高齢介護課長） 高橋 直輝
 - （旧）福祉支援課長 中山 卓也
 - （旧）環境課副主幹 山口 卓

次回定例会の お知らせ

次回、第2回定例会の日程は左表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は5月23日に開催する予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

令和5年第2回6月定例会日程(予定)

月	火	水	木	金	土	日
5/29	5/30	5/31	1	2	3	4
			本会議 (提出議案の説明)			
5	6	7	8	9	10	11
本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会		
12	13	14	15	16	17	18
		本会議 (総括質疑、討論、採決)				

議員辞職のお知らせ

熊坂宗徳議員におかれましては、令和5年3月31日付で、愛川町議会議員を辞職されました。これにより愛川町議会議員の現員数は15人となります。

町議会との 意見交換会

町民参加を基本とする開かれた議会を目指すため、町民皆さんの意見交換会を実施します。より多くの方のご意見を聞くため、今回は参加者を2グループに分けて開催します。

日時 5月19日（金）
午後7時から

場所 文化会館3階
会議室

参加方法 直接会場へお越しください
(申込不要)

あいかわほっこり写真館

まぶしい木々の青さから、力強い生命力を感じる季節となりました。
今号でも、担当する委員一人ひとりが愛川町の魅力をお伝えするため、町内各地を巡り、
写真を撮影してきました。それぞれの写真を見て、こころが「ほっこり」していただければ幸いです。



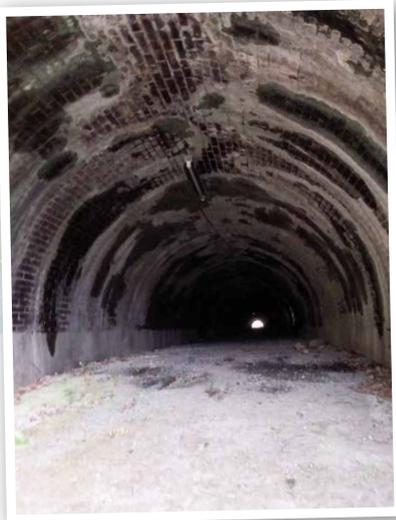
キンカン大好き！
季節のお客様



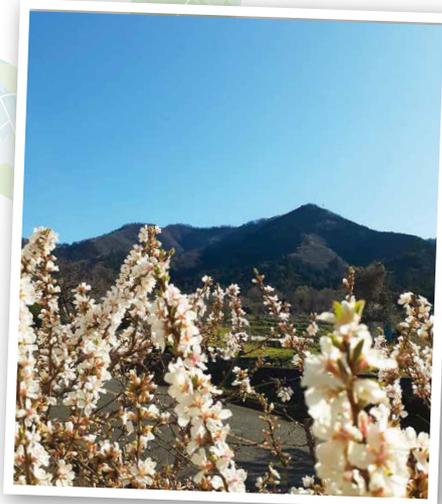
伊保の権現様



梅の香を たどりついたら 養鶏場
(2月20日三増にて)



すいどう
半原の隧道12号



ユスラウメ(梅桃)の向こうには
仏果山！標高は747メートル

◎議会クイズは17ページに掲載しています。

委員 井上博明
 委員 小島総一郎
 委員 山中正樹
 委員 井出一己
 委員 小林敬子
 委員 佐藤茂
 委員 阿部隆之
 委員 玉利優
 副委員長 茅孝之
 委員長 岸上敦子
 広報広聴常任委員会

のさらなる向上のために、
 町議会をより身近に感
 じて頂けるよう、わか
 りやすい議会だよりの
 作成に努めてまいります。

引き続き、町民福祉
 提出致しました。
 を改正する条例の2件を
 愛川町議会の個人情報保
 護に関する条例、愛川町
 議会議員定数条例の一部
 中で議員提出議案として
 計予算が充分な審議を経
 て可決されました。その
 皆様の生活に直結する、
 令和5年度愛川町の各会
 3月定例会では町民の
 藤茂委員が加りました。
 職したため、新たに佐
 坂崇徳委員が議員を辞
 の委員10名のうち、熊

編集後記